

平成 22 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録

日時：平成 22 年 4 月 9 日（金） 17:30～21:00

場所：社会基盤工学専攻大会議室

出席者：竹内会長，竹内(1 期・東京支部)，水野(1 期)，寺本(2 期，会計監事)高瀬(2 期)，南川(3 期)，大澤(4 期)，遠山(5 期)，横田(6 期)，近藤(7 期)，寺島(8 期)，河邑(9 期)，吉田(10 期)，伊藤(11 期)，水野(12 期)，鳥居(13 期・関西支部)，田中(13 期)，大東(16 期)，岩田(18 期)，水谷(19 期)，伊東(20 期)，後藤(21 期)，加藤(22 期)，中村(23 期)，中野(24 期)，野田(25 期・幹事長)，鈴木(26 期)，泉(26 期・懇親会)，加藤(28 期・副幹事長)，川崎(29 期・名簿)，荻野(30 期)，小塩(31 期・名簿)，葛西(32 期・広報)，水野(32 期)，三輪(34 期・会計)，田代(35 期・名簿)，田代(36 期・会計)，中井(36 期・会計)，田賀(38 期)，上田(39 期・名簿)，中村(39 期・広報)，中村(42 期)，酒井(44 期・しゃち)，奥岡(44 期)，上山(45 期・学生会)，青山(46 期)，戸田(現教・しゃち) 計 47 名

役員会に先立ち，会長挨拶および幹事自己紹介があった。

報 告

1. 平成 21 年度分会計報告

(三輪)

- ・平成 21 年度分(2010.4.8 締)の会計について，会費納入の収入状況ならびに，総会・学生会・女子の会・留学生への補助/支援および事務員雇用費などの支出状況の説明がされた。
- ・事務員は平成 22 年 4 月で交替したことが報告された。

2. 会費納入状況について

(田代)

- ・4 月 9 日現在の各期納入状況一覧が示され，説明がされた。
- ・納入率の若干の改善が見られ，同期会開催期の幹事による呼びかけが奏功したと考えられる。
- ・各期幹事は引き続き同期会員に会費納入をお願いしてください。

3. 後援基金報告

(中村)

- ・後援基金使用ルールの確認とともに，21 年度下半期の支出状況について報告がされた。詳細は，特別講演謝礼 6 件，博士論文印刷補助 0 件，永久会員資格権利(15,000 円)授与 1 件，留学生歓迎会補助 1 件。なお，博士論文印刷補助については，対象者であっても希望しないケースがあるため，対象者にもう少し制度への理解を促したい旨，説明がされた。

4. 教室近況報告

(中村代理：中野)

- ・前回役員会からの教室の人員配置の変更等として，中野正樹教授の所属講座変更，館石和雄教授のエコトピア科学研究所から工学研究科社会基盤工学専攻への所属変更，山田正太郎准教授の着任，田代喬准教授の昇任，田代むつみ助教の着任ならびに葛西昭講師の熊本大学への転出(いずれも 4 月 1 日)が報告された。
- ・土木系教室を構成する大学院の工学研究科社会基盤工学専攻と環境学研究科都市環境学専攻(空間コース)，国際環境人材育成プログラム(NUGELP)ならびに学部の関係が説明された。
- ・教室として来年度創立 50 周年を迎えるため，その準備を始めたことが報告された。

支部活動報告

1)東京支部

(若林代理：竹内(宏))

- ・5 月開催の支部役員会において，支部総会(11 月 12 日 or 19 日)開催に向けて，今後の支部活動

を検討する旨説明があった。

2)関西支部

(鳥居)

- ・昨年 10 月に支部幹事間で支部状況を共有した。支部総会については、多くの若い年代の方の参加が可能となるよう開催時期の変更を検討したい旨説明があった。

5. 学生会活動報告

(村井代理：上山)

- ・21 年度活動報告(会計報告含む)として、前回鏡ヶ池会役員会後の活動については、研究室対抗ソフトボール大会、就職試験対策ゼミの開催とともに、卒業アルバムの製作を復活させたことが説明された。

6. 女子の会活動報告

(田代(む))

- ・21 年度活動報告(会計報告含む)として、第 1 回：新入生歓迎会、第 2 回目：名大土木 OG との交流会が報告された。今後は学外の女性の会との連携も視野に入れて活動の場を広げたい旨が説明された。

7. 留学生支援に関する会計報告

(李代理：野田)

- ・土木系教室内での留学生間の親睦を深めるとともに同窓会への帰属意識を高めることを目的に、平成 21 年 7 月 21 日に懇親会を開催し、鏡ヶ池会が 5 万円を補助したことが報告された。今後も活動を継続的に行いたい旨が報告された。

8. 土木事業談話会・マナー講座報告

(野田)

- ・平成 21 年 12 月 5 日(土)に土木事業に関する談話会を行い、52 名の学生が参加したこと、懇親会費用・講師交通費 120,000 円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。
- ・平成 22 年 1 月 14 日(水)にマナー講座を行い、53 名の学生が参加したこと、講師派遣費用 66,820 円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。

9. その他

- ・伊藤幹事(11 期)より、ホームカミングデイ(10 月 16 日)にて全学同窓会総会が開催されること、名古屋大学基金は 20 億円となり、あと 30 億円の上乗せを検討されていることなどが紹介された。
- ・横田幹事(6 期)より、鏡ヶ池会ゴルフの会が 99 回を平成 22 年 4 月 10 日に開催。100 回目を 7 月頃に開催予定としているので、多くの参加者を募りたい旨、発言があった。

議 事

1. 幹事・役員の変更・追加

(野田)

- ・役員・幹事の変更・追加が承認された。
- ・前回役員会名簿からの変更(修正含む)は以下の通り。
会員担当(名簿)：小塩達也(追加)、しゃち担当：井上康・山田英司 酒井崇之、広報担当：中村友昭(追加)、教員幹事：中野正樹 中村英樹、21 期：平林直文 後藤徳善、32 期：葛西昭 水野和憲、42 期：板橋一志 中村雅美、44 期：村井啓太 奥岡桂次郎、4 年幹事：青山達彦・唐津佑一郎(以上、敬称略)。
- ・寺本会計監事は次回総会前まででご退任されることを了承した。

2. 平成 21 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録(案)

(野田)

議事録案が了承された。

3. 「会員名簿 No.46」編集方針

(川崎)

- ・ No.45 の編集・発送の総括，No.46 の編集方針と今後のスケジュールが説明され，了承された．
 - ・ No.45 の総括では，会員の個人情報の名簿非表示化を行うが，名簿等発送のため会員住所だけは各期幹事からご提供いただきたいこと，平成 20 年度の返送状況をもとに 65 名の住所不明者への名簿発送中止をしたことなどが報告された．
 - ・ 従前幹事に送付していた二冊目の名簿は今後送付しないことを決定した．
4. 「しゃち No.51」編集方針 (戸田)
- ・ 編集方針が説明され，了承された．
 - ・ 特集は浅岡顕先生・井村秀文先生・山田健太郎先生の退職記念とする．
 - ・ 「銀しゃち」の投稿または配布申し込み等に関する広告記事を掲載する．
5. 銀しゃち刊行企画(具体案) (竹内会長)
- ・ 鏡ヶ池会の活動として，鏡ヶ池会会費納入者に対象を限定したオンデマンドによる紙媒体の銀しゃち配布とすること，それ以外の配布希望者は HP からのダウンロードとすること，しゃちに広告記事を掲載して鏡ヶ池会全会員から投稿者・配布希望者を募ること，初刊発刊は平成 23 年初夏予定であること，銀しゃち編集者は 40 代後半以降の鏡ヶ池会全会員から公募することなどの具体案が示され，最大 1000 部程度を想定して 40 万円程度を鏡ヶ池会から拠出すること，状況を見て発刊見直しもあるものとして，原案通り了承された．
 - ・ なお，HP からのダウンロードが可能になるため，引用文献等に対する著作権(公表権)には特段注意を払う必要があることが指摘された．
6. 会計：新会計システム移行への方針と提案 (田代)
- ・ 前回役員会で了承された，(1)正会員費の一律化(学生会員費廃止を含む)と納入サイクルの単年度化，(2)プレミアム会員の導入，(3)コンビニ(郵便局併用)収納代行サービスの導入を前提に，会計システムの方針案および将来予算の変遷シミュレーション結果とともに，未納者の対応を含む新会計システム移行措置に関する事務局案が提示された．
 - ・ プレミアム会員以外については，原案通り，了承された．なお，会計システムの簡素化に加え，継続的な会費納入率上昇とともに経費削減のための努力も必要であることがあらためて認識された．
 - ・ プレミアム会員については，卒業後 48 年(70 歳相当)を迎えた期で一斉に当該会員の権利を有するものとし，会費完全納付者のみ以後の会費を請求しないこととした．(未納者にはそれまでの未納分の会費を請求し続ける．)
7. 総会の単年度化と次期会長職制(または副会長制)について (竹内)
- ・ 今後，必要な改善・改革を速やかに実施してゆくため，総会を従前の三年度制から単年度制へと変更することを了承した．
 - ・ 会長職の若返りやロード軽減あるいは，会長のリーダーシップなどの観点から，任期を一年とすること，会長職や会長職務代行者のあり方などについて，継続的に検討することとした．
8. 三役選出方法内規について (野田)
- ・ 議題を「会長等選任方法内規について」から変更し，三年ごとに確認することになっている鏡ヶ池会三役選出方法内規が確認された．内規に従い会長推薦案作成委員会委員 6 名(竹内伝史(会長，3 期)，野田利弘(幹事長，25 期)，加藤博和(副幹事長，28 期)，大東憲二(16 期)，水谷法美(19 期)，二井内政典(41 期)(敬称略))が選出された．
 - ・ 今後の予定として，6 月中旬に各期に会長候補の推薦依頼，8 月中旬に推薦締め切り，その後 2

回の会長推薦案作成委員会を開催し，平成 23 年度第 1 回の役員会で会長候補者を決定する，ことが了承された．

9. 50 周年記念事業協力委員会（仮称）の設置について （竹内）
- ・土木系教室で 50 周年記念事業を行うにあたり，鏡ヶ池会同窓会での対応を会長および幹事長に一任することとした．
10. その他
- ・会則の改正について，総会の単年度制に伴う記載事項などの変更について，次回の役員会に提案することとした．
 - ・今年度の鏡ヶ池会懇親会について，名古屋市勤務の名大土木 OB の方々を中心にご協力いただくことが幹事長から示され，名古屋市の窓口の泉会員（26 期）にご挨拶いただいた．詳細な日程等は，今後調整の上，役員・幹事にメールで連絡する．

次回役員会：平成 22 年 10 月 2 日（土）16:00～．役員会終了後，懇親会を行う．

以上